

# 新潟市における

— 在宅医療・介護連携推進事業の取り組み—  
新潟市保健衛生部地域医療推進課 清水 智子



# 日頃地域包括ケアシステム構築で悩むこと！？

○「地域」の範囲・・・エリアを考えると難しい。

○「包括」・・・地域をまるごとみることは難しい。

○「システム」・・・構築は難しい。



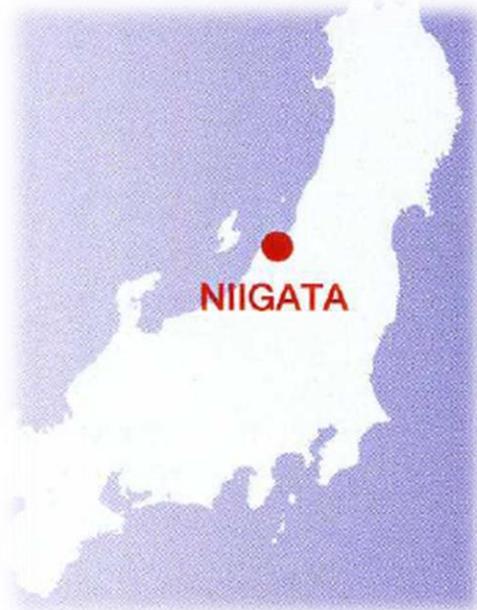
周囲の期待は大きいですが・・・



# 新潟市について



- 政令指定都市（平成19年～）
- 人口 約810,157人 高齢化率27.0%
- 面積 約727km<sup>2</sup>
- 病院数44 診療所数526 訪問看護ステーション51
- 地域包括支援センター27（全委託）



8行政区



27  
日常生活圏域

# 新潟市各区別の状況

花開く活力、  
広がる笑顔。  
政令市新潟



新潟市全体人口 810,157人 高齢化率 27.0% (平成27年国勢調査)

人口183,767人 高齢化率25.1%

病院数14  
(大学病院・市民病院 救急告示3)  
診療所183 (在宅療養支援診療所18)  
地域包括支援センター 4箇所

人口137,577人 高齢化率26.6%

病院数5 (救急告示3)  
診療所73  
(在宅療養支援診療所4)  
地域包括支援センター 3箇所

人口776,328人 高齢化率27.4%

病院数4 (救急告示1)  
診療所数30 (在宅療養支援診療所2)  
地域包括支援センター 3箇所

人口162,833人 高齢化率26.7%

病院数9 (救急告示4)  
診療所数103  
(在宅療養支援診療所10)  
地域包括支援センター4箇所

西蒲区

人口58,218人 高齢化率30.3%

病院数4 (救急告示0)  
診療所32 (在宅療養支援診療所7)  
地域包括支援センター4箇所

人口45,685人 高齢化率27.6%

病院数3 (救急告示1) 診療所21 (在宅療養支援診療所1) 地域包括支援センター3箇所

中央区

東区

北区

江南区

南区

秋葉区

人口68,906人 高齢化率27.5%

病院数2 (救急告示1)  
診療所44 (在宅療養支援診療所1) 地域包括支援センター3箇所

人口76,843人 高齢化率29.2%

病院数3 (救急告示2)  
診療所40 (在宅療養支援診療所4)  
地域包括支援センター3箇所

# 組織体制

新潟市保健衛生部地域医療推進課 (新潟市総合保健医療センター)  
 医師会・歯科医師会・薬剤師会は市全域で各団体一元化

5F	市医師会 (在宅医療・介護連携センター／在宅医療推進センター)
4F	市歯科医師会 市薬剤師会
3F	市保健所
2F	市保健所 市保健衛生部
1F	市急患センター



## お車でお越しの場合

### 【東新潟方面より】

新潟バイパス 紫竹山ICより約5分

### 【西新潟方面より】

新潟バイパス 弁天ICより約2分

駐車台数 188台

(うち障がい者専用駐車スペース11)

## 公共交通機関をご利用の場合

【バス】JR新潟駅南口 1番のりば

・S6 長潟線 南部営業所行

・S7 スポーツ公園線 新潟市民病院  
 バス停「紫竹山」下車、徒歩7分

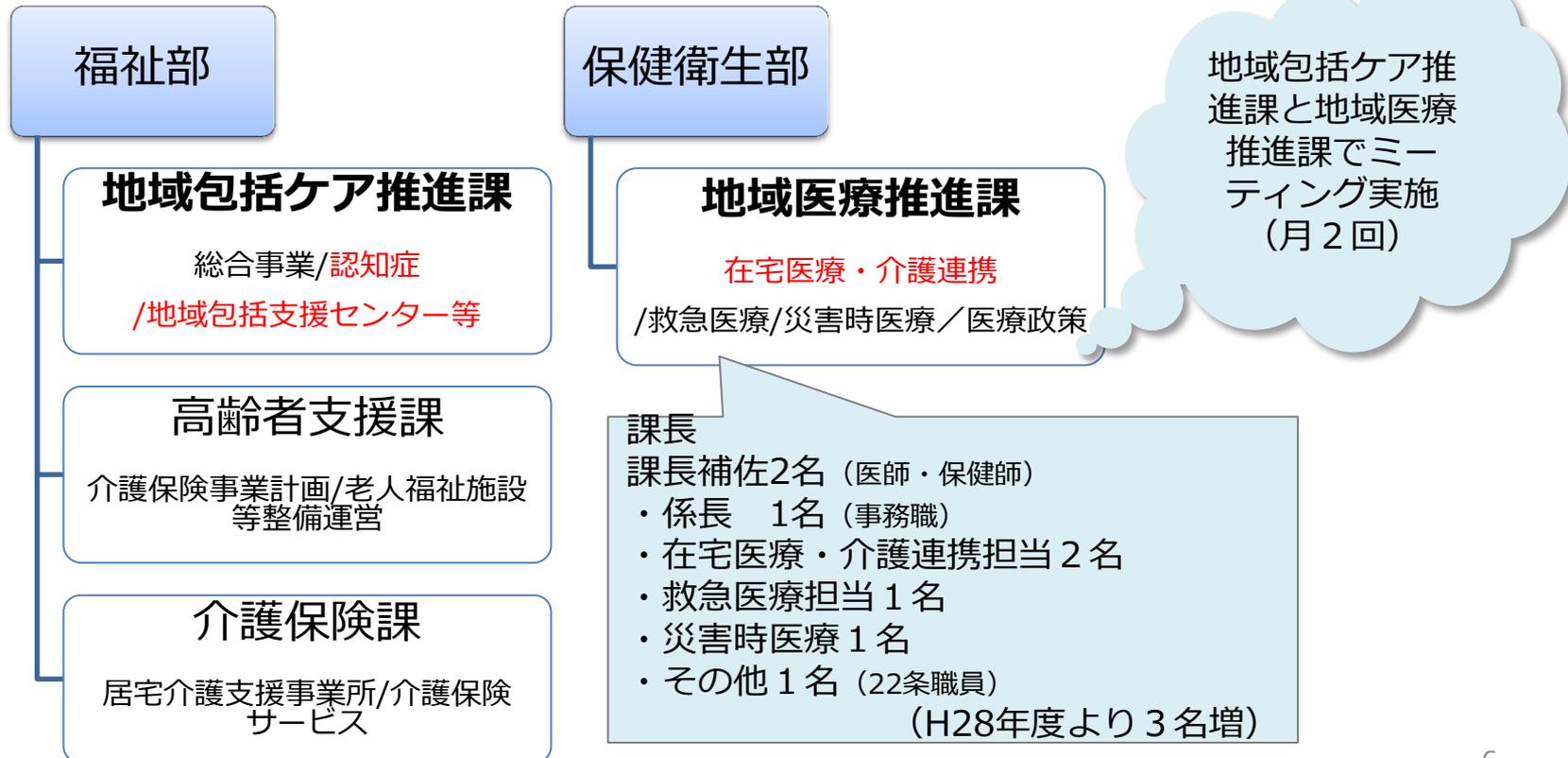
注：弁天ICは新発田方面からは降りられません

# 組織体制

- H22 保健衛生部 保健所保健管理課 地域医療係
- H23 保健衛生部 保健衛生総務課 地域医療推進室
- H26 保健衛生部 保健所保健管理課 地域医療推進室
- H27 保健衛生部 保健所地域医療推進課

H28 保健衛生部 地域医療推進課 (救急医療/在宅医療/災害時医療)

福祉部と保健衛生部を統括する「医療・介護連携担当理事」配置



# 在宅医療・介護連携に係る事業の変遷

---



# 当初は多くの課題で潰されそうでした！

- 医療関係者から行政への信頼度が低い
- 地域では在宅医療への認知度・評価が低い  
「在宅」なんて無理でしょう 「病院, 施設から追い出すためのものか」……………という声・声・声
- 抽象論よりも, データに基づく具体的な説明がほしい
- この事業をすることで地域がどのように良くなるのか具体的に示してほしい
- 行政はビジョンを示せ！！！！



# 新潟市のあゆみ(第1フェーズ)

① 担当を明確化し在宅医療の意義, 必要性を理解し現況を知り関係機関や市民に伝える。

- ➡ 市内の在宅医療に熱心な関係者へヒアリング, 県と協議  
先進地視察 医師会の会議に参加 研修会や勉強会を開催
- ➡ 医師会を良きカウントパートに

② ニーズ把握

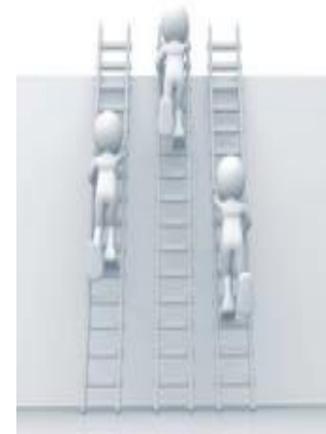
- ➡ 市民に対してアンケート調査 モデル事業を通して市内関係者のニーズ把握をして地域を知る

③ 目標・方針の設定 (行政のビジョン)

- ➡ 医療計画の策定(在宅医療・救急・精神・災害)

④ 運営 (予算獲得)

在宅医療・介護連携推進事業(地域支援事業)



# 新潟市医療計画 在宅医療 (一部抜粋)

## 施策の展開

在宅医療は全ての階層が有機的に繋がることが重要であり、必要な施策も全ての階層にあったものが必要

### 主な施策

#### 拠点の整備

- ◆在宅医療の相談窓口や人材育成などの中心的役割を担う拠点整備を検討

#### 関係機関の連携促進

- ◆地域の状況に合った支援体制づくりの推進  
・多職種によるネットワーク構築

#### 人材確保

- ◆在宅医療に携わる関係者の人材確保と質の向上を図る

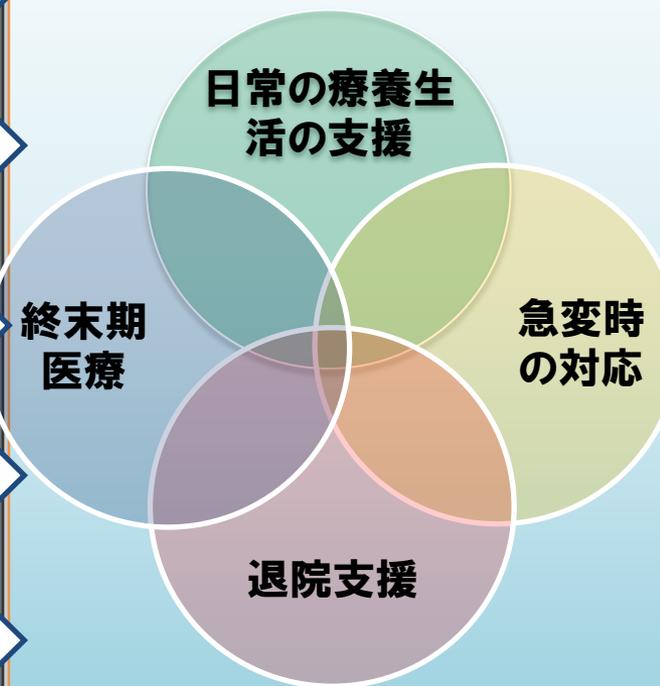
#### 市民への普及啓発

- ◆在宅医療やかかりつけ医・終末期医療についての普及啓発

#### 地域包括ケアシステムの構築

- ◆第6期介護保険事業計画で検討

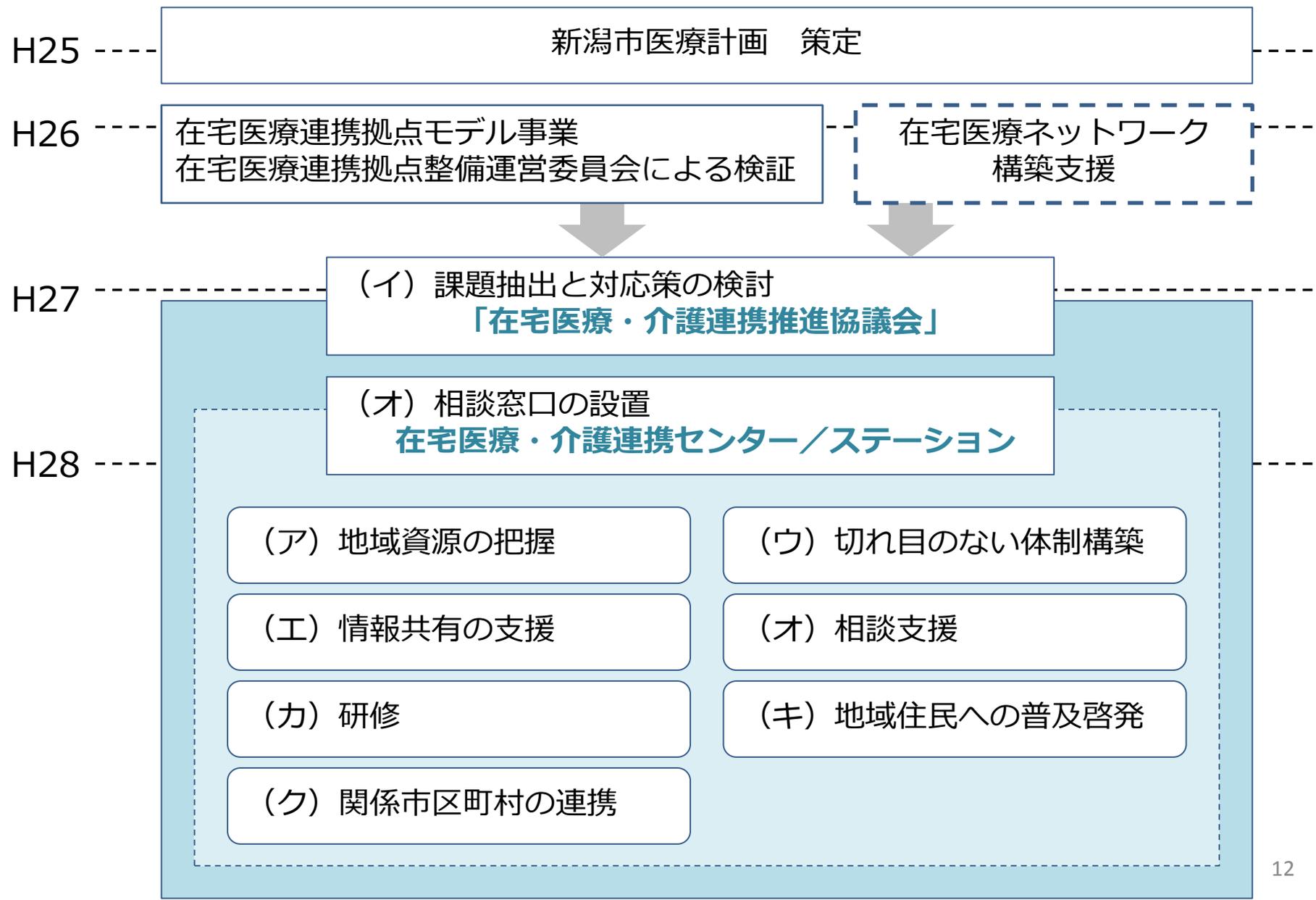
### 在宅医療推進 4つの柱



# 法制度の変革の波に乗り～（在宅医療・介護連携推進事業）

	H 2 3	H 2 4	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8	H 2 9	H 3 0
市区町村	在宅医療連携拠点事業（国補）		新潟市医療計画策定				新潟市医療計画中間報告	
				地域医療再生基金モデル在宅医療連携拠点整備委員会設置		在宅医療・介護連携推進協議会設置		
				第6期介護保険事業計画策定	第6期介護保険事業計画（「地域支援事業」の改定在宅医療・介護連携開始）		第7期介護保険事業計画策定	第7期介護保険事業開始
都道府県			第5次新潟県地域医療計画策定			地域医療構想の策定	地域医療構想調整会議	
				地域医療介護総合確保基金 （新たな財政支援制度による“新基金”）				

# 第1フェーズの経緯



# H26 新潟市在宅医療連携拠点整備運営委員会

「新潟県在宅医療連携モデル事業」（県内5箇所採択）において、新潟市では新潟市医師会・**済生会新潟第二病院・斎藤内科クリニック**の3者連名によりH26～H27の2年間、「在宅医療連携拠点事業」と「在宅医療IT連携事業」を実施。

新潟市は調整役として委員会を設置。拠点の全市展開に向けた検証・検討を開始。

## 在宅医療連携拠点整備運営委員会の開催状況（平成26年度5回，平成27年度3回）

第1回（H26.5月）

**新潟市の現状の把握，方針の確認，課題の抽出(グループワーク)**

第2回（H26.7月）

拠点の業務内容について

第3回（H26.9月）

拠点の業務計画について

第4回（H27.2月）

IT連携運営委員会との合同会議，進捗報告（2事業）

第5回（H27.2月）

拠点事業報告 ・ **在宅医療介護連携推進事業について**

拠点事業評価アンケート，医療資源調査について

第6回（H27.6月）

中間評価 ・ 地域包括支援センターアンケート調査

在宅医療介護連携推進事業，協議会設置について

第7回（H27.10月）

アンケート，医療資源調査の実施について

第8回（H28.3月）

総括，総括報告書の検討 ⇒H28.4月「**新潟市在宅医療連携拠点事業 総括報告書**」作成



# H26 在宅医療連携拠点 業務計画

カテゴリ	方策	業務内容
多職種連携	顔の見える関係づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>□地域連携における課題を抽出</li> <li style="text-align: center;">↓</li> <li>□抽出した課題をカテゴライズ</li> <li style="text-align: center;">↓</li> <li>□カテゴライズした課題ごとに方策案を検討</li> <li style="text-align: center;">↓</li> <li>□方策ごとに2つの拠点において実施する業務を決定</li> <li style="text-align: center;">↓</li> <li>H26～H27の2年間 計画業務を実施</li> </ul>
	多職種連携の仕組みづくり	
	課題解決策の抽出	
	情報共有ツールの作成・活用	
人材育成	在宅医療従事者の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>□方策ごとに2つの拠点において実施する業務を決定</li> <li style="text-align: center;">↓</li> <li>H26～H27の2年間 計画業務を実施</li> </ul>
	在宅医療従事者の負担軽減体制構築	
情報	医療・介護資源の把握, 活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>□方策ごとに2つの拠点において実施する業務を決定</li> <li style="text-align: center;">↓</li> <li>H26～H27の2年間 計画業務を実施</li> </ul>
	情報提供, 情報公開	
普及啓発	普及啓発	<ul style="list-style-type: none"> <li>□方策ごとに2つの拠点において実施する業務を決定</li> <li style="text-align: center;">↓</li> <li>H26～H27の2年間 計画業務を実施</li> </ul>
相談窓口	在宅医療総合相談窓口の設置	

ここ（在宅医療連携拠点整備運営委員会）で作ったこの業務計画書が、現在の在宅医療・介護連携センター・ステーション業務計画書のベースとなっている。（ア～クは後付け）

# 在宅医療ネットワーク(互助) 支援のあゆみ



H28~ 在宅医療NW事務担当者会議  
在宅医療NW情報交換会  
在宅医療・介護連携推進事業 (地域支援事業)

H26~ 在宅医療NW事務担当者会議  
在宅医療NW情報交換会  
新潟県在宅医療連携モデル事業 (地域医療再生基金)

H25~ 在宅医療NW活動支援事業 (補助金拡充)

H23~ 在宅医療NW推進事業 (市単補助金)

＜在宅医療ネットワーク数の推移と目標＞

H24	H25	H26	H27	H28	(H29目標)
6	8	13	16	20	(21)

# 新潟市内の在宅医療ネットワーク

## 在宅医療ネットワーク 20団体（H29年7月現在）

★印：新潟市在宅医療ネットワーク活動支援事業補助金活用

★山の下地域包括ケアネット

●ぼーちゅらかネット

★北地域在宅医療介護支援ネットワーク

●北区医療と介護のささえあいネット

（ござれやネット）

★にいがた在宅ケアねっと

★しもまち地域連携ネットワーク

★関屋・白新地域ケアネット

★にいがたみなみ在宅ネットワーク

●認知症支援ネットワーク（とやのがたネット）

●にいがた西区地域連携ネットワーク

★西区地域口腔見守りネットワーク

●にしく赤・坂ネット

西区

中央区

東区

北区

江南区

西蒲区

南区

秋葉区

★新潟市薬剤師会在宅医療委員会

★緩和ケアリンクにいがた

（市内全域）

★西蒲区在宅医療ネットワークの集い

●南部地区在宅医療連絡会

（南区・西蒲区）

●江南区在宅医療・福祉ネットワーク

★大江山横越地域包括ケアネットワーク

★新津地域医療福祉連携運営委員会

★南区保健医療福祉のつながりを深める学習会

# 新潟市における在宅医療・介護連携推進の取り組み (新潟市在宅医療・介護連携センター/ステーション)

センター/ステーション名	医療機関名
新潟市在宅医療・介護連携センター	新潟市医師会
新潟市在宅医療・介護連携ステーション 北	豊栄病院
新潟市在宅医療・介護連携ステーション 東	新潟臨港病院
新潟市在宅医療・介護連携ステーション 東第二	木戸病院
新潟市在宅医療・介護連携ステーション 中央	斎藤内科クリニック
新潟市在宅医療・介護連携ステーション 中央第二	みどり病院
新潟市在宅医療・介護連携ステーション 江南	亀田第一病院
新潟市在宅医療・介護連携ステーション 秋葉	新津医療センター病院
新潟市在宅医療・介護連携ステーション 南	新潟白根総合病院
新潟市在宅医療・介護連携ステーション 西	済生会新潟第二病院
新潟市在宅医療・介護連携ステーション 西第二	信楽園病院
新潟市在宅医療・介護連携ステーション 西蒲	西蒲中央病院

	MSW	看護師	保健師	介護支援専門員	事務・SE
センター	2		1		1
ステーション	15	5	1	1	4
計	17	5	2	1	5

# 在宅医療・介護連携に係る事業の内容

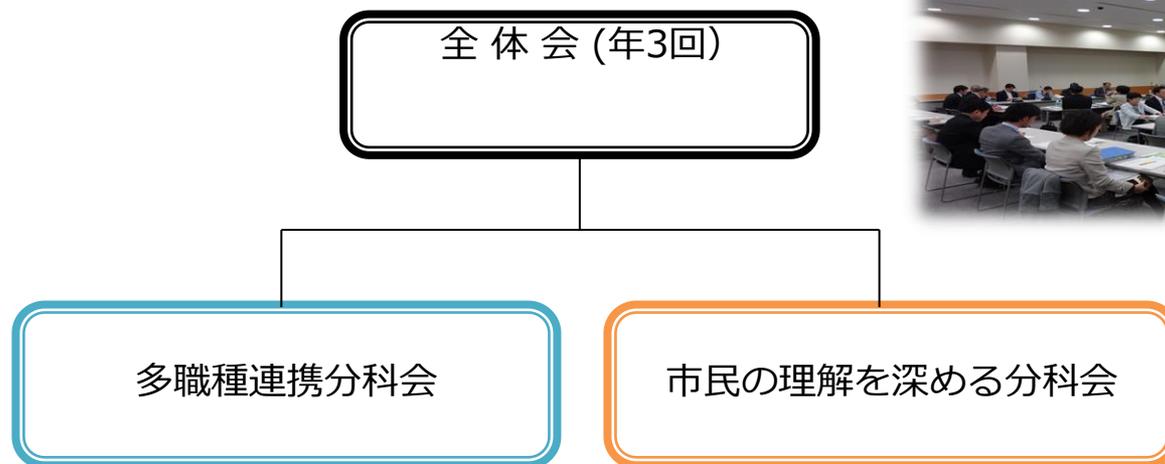
---



# 在宅医療・介護連携事業の内容は協議の場で決定！

## 新潟市在宅医療・介護連携推進協議会

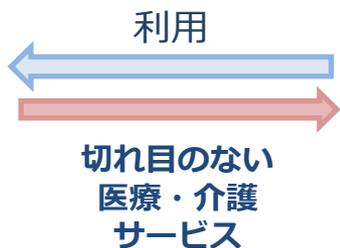
- 平成27年7月28日設置（平成29年4月5日分科会名称変更・委員交代）
- 委員20名
  - 大学・市医師会・市歯科医師会・市薬剤師会・県ソーシャルワーカー協会
  - ・県訪問看護ステーション協議会・県介護福祉士会・県理学療法士会
  - ・市社会福祉協議会・市民生委員児童委員協議会・コミュニティ協議会
  - ・地域包括支援センター・病院・在宅医療連携拠点事業実施者・在宅医療ネットワーク
- 協議会の役割
  - ・在宅医療・介護連携の推進に必要な施策に関すること
  - ・新潟市医療計画の進捗状況，具体策の協議に関すること



# 在宅医療・介護連携拠点(在宅医療・介護連携ステーション/センター)を核として展開

## 医療・介護関係機関

- ・ 医科、歯科診療所
- ・ 病院
- ・ 調剤薬局
- ・ 訪問看護ステーション
- ・ 訪問リハビリテーション
- ・ 居宅介護支援事業所 (介護支援専門員)
- ・ 介護事業所
- ・ 老人保健施設
- ・ その他事業所



利用者

(患者・家族)

相談

支援

相談

支援

相談

支援

地域包括支援センター

連携

対応する地域に所在する全ての  
地域包括支援センターと連携

## 関係団体

- ・ 在宅医療ネットワーク (H29.7月現在20団体)
- ・ 県、近隣市町村
- ・ 市医師会、市歯科医師会  
その他職能団体等

連携

実施主体

新潟市

- ・ 地域医療推進課
- ・ 地域包括ケア推進課
- ・ 各区役所



## 在宅医療・介護連携ステーション (新潟市在宅医療・介護連携推進事業)

- ◆ おおむね各区単位に設置
- ◆ 基幹型として新潟市医師会内に「在宅医療・介護連携センター」を設置

### <職員>

介護保険の知識を有する看護師・医療ソーシャルワーカー

### <主な機能・役割>

- 地域の医療・介護関係者等からの在宅医療・介護サービスに関する相談を受け付ける (市民からの相談は原則、地域包括支援センターが対応)
- 地域包括支援センターや在宅医療ネットワーク等と連携し、医療と介護の『顔の見える関係づくり』をサポートする

### <具体的な取り組み>

- 多職種顔の見える関係づくり
- 各種研修・勉強会の開催
- 市民啓発
- 医療・介護関係者への相談支援、情報提供

～医療と介護の連携をサポート～



# H29年度 新潟市の取り組み

## 主な事業

### I 在宅医療提供体制の基盤整備

#### 「在宅医療・介護連携推進事業」

医療と介護の橋渡し、地域の多職種連携拠点を運営

#### 「在宅医療・介護連携センター(1か所)

在宅医療・介護連携ステーション(11か所)」(うち3か所新設)

### II 地域における多職種連携の取り組み支援

#### 「在宅医療ネットワーク活動支援事業」

多職種による在宅医療ネットワークの新規立上、活動継続を支援し、在宅医療提供体制の整備を推進

◆補助額(1団体)500千円(初回)

100千円(2回目) 50千円(3回目)

### III 在宅医療を支える人材育成事業

#### 「地域医療連携強化事業」

#### 「訪問看護普及啓発事業」

病院の医師や看護師を中心に在宅医療・訪問看護等への理解を深め、知識を習得し、地域連携する機会を提供

### IV 在宅医療・介護に関する普及啓発の強化

#### 「在宅医療・介護市民出前講座」

公民館、地域の茶の間などで医師・看護師・ケアマネ・介護経験家族が講師となり、市民の皆さんから在宅医療に関わる理解を深めていただく。

#### 「在宅医療・介護区民公開講座」

#### 「在宅医療・介護ナイトスクール」

#### 「在宅医療・介護市民フォーラム」

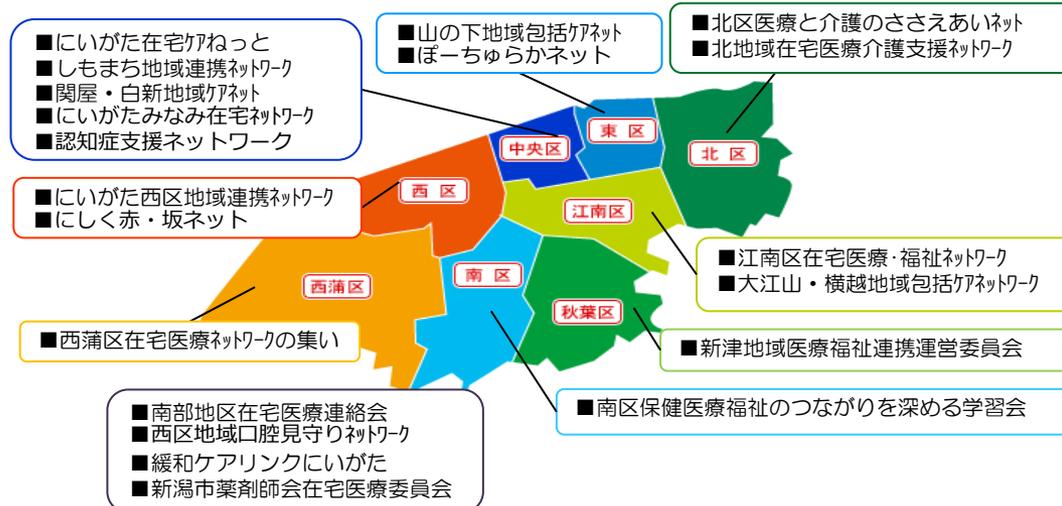
#### 「在宅医療・介護に関する普及啓発冊子の配布」

### V 在宅医療・介護連携推進協議会

医療介護関係機関・病院・地域包括支援センター・コミュニティ協議会などの関係者からなる協議会を開催し、在宅医療・介護連携の推進に必要な具体策を協議



## 在宅医療ネットワーク 20団体 (H29.7月現在)

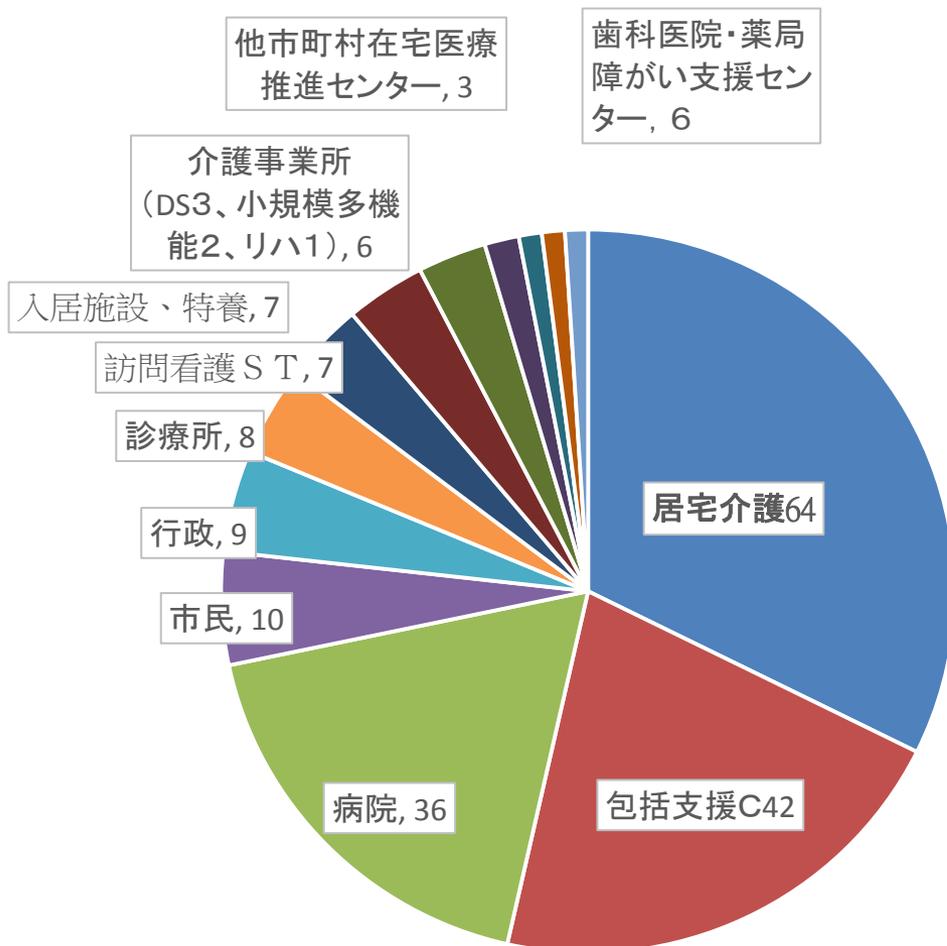


# 平成29年度 在宅医療・介護連携推進事業 業務計画

項目	具体的な取り組み	年間実施等回数	実施年度			実施主体			特記事項 (H28との変更点等)
			H27	H28	H29	センター	ステーション	市	
(ア) 地域の医療・介護の資源の把握	1 医療資源情報管理, マップ管理			調査	管理更新 追加調査	○			H28調査済 H29は更新管理等(一部追加調
	2 地域医療・介護連携に関する実態調査(アンケート)の実施	年1回				○			
(イ) 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討	3 在宅医療・介護連携推進協議会設置・開催	全体会 2回 分科会 5回						○	
	4 ステーション業務の統括・調整					○			
	5 関係機関との連携調整・連携のしくみづくり					○			
	6 センター・ステーション会議の実施	12回				○			
(フ) 切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築	7 地域医療連携強化事業	12回				○			新規事業 在宅医療推進センターと連携
	8 訪問看護普及啓発事業	1回						○	新規事業
(エ) 在宅医療・介護関係者の情報の共有支援	9 ステーション業務マニュアル更新管理			作成	更新	○			
	10 在宅医療・介護連携ガイドライン作成(検討)			(C)	(市)			○	実施主体 センター → 市
	11 情報共有ツール利用促進研修会	8回		(ST)	(C)	○			実施主体 ST → センター (実施内容によりSTと連携)
(オ) 在宅医療・介護関係者に関する相談支援	12 在宅医療・介護連携を支援する相談窓口の運営							○	
	13 医療・介護関係者からの相談対応等							○	
	14 地域包括支援センターとの連携・支援							○	
	15 地域ケア会議など関係会議等への参加・情報提供							○	
(カ) 医療・介護関係者の研修	16 在宅医療ネットワーク事務担当者会議	4回				○			
	17 在宅医療ネットワーク情報交換会	1回				○			
	18 ご当地連携研修会	年6回 (×11ST)						○	「多職種連携研修会」と「医療・介護事業所出前セミナーを一体化。年6回とし、地域のニーズに即した研修会、情報交換会を実施
(キ) 地域住民への普及啓発	19 在宅医療・介護の市民出前講座「医療と介護のおきがら座談会」	随時 (申込対応)		(ST)	(ST, C, #)	(○)	○	(○)	
	20 在宅医療・介護の区民公開講座(おおむね区域)	年2回 (×11ST)						○	新規事業 おおむね区域を対象に企画型で実施
	21 在宅医療・介護のナイトスクール(おおむね区域)	年8回						○	新規事業 夜間・休日開催
	22 市民公開講座「在宅医療・介護市民フォーラム」(市域)	1回				○			
	23 在宅医療・介護に関する普及啓発冊子の作成・配布	10,000部				○		○	H28新規作成 H29は更新等
	24 センターホームページ運営・管理				作成	更新	○		H28作成済 H29は管理更新等
(ク) 在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携	25 近隣市区町村センター情報交換会の開催(参加)	1回 (その他随時参加)				○			

# 平成28年度 相談事業

## 【相談者の所属】 N=198



## 居宅支援事業所からの相談内容

訪問診療に関すること	10
往診に関すること	10
ショートステイ中の医療について	8
他科、他医療機関への変更について	5
病状管理に関すること	4
療養型の選定や手続きに関すること	4
訪問看護に関すること	3
透析患者のショートや通院方法	3
難病に関する制度、入所、レスパイトケアプランの相談	3
精神科疾患への対応	2
専門医療機関の紹介	2
医師の介護保険制度に関する理解について	2
医療スタッフとの関わり方	2
転院・入所先について	2
その他	6

# (ア) から (ク) の取り組み (抜粋) 地域支援事業

さらにさらに、

## (ア) (キ) 在宅医療・介護連携センターホームページ作成・公開

新潟市在宅医療・介護連携センター

1/2 ページ

文字サイズ 小 中 大

トップページ 医療・介護関係者さま 市民の皆さま

### 在宅医療・介護とは (厚生労働省)

新潟市の取り組みについて

医療と介護の両方を必要とする状態の地域で支援を必要とする方々が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、地域における医療・介護の関係機関が連携して包括的かつ継続的な在宅医療・介護を提供する取り組みです。

当Webサイトから簡単にご記入・送信できる  
医療資源調査 記入フォームを開設しました

連携センターから医療関係者さまへのお問い合わせ案内



### 医療・介護関係者さま

#### 連携センターからのお知らせ

2016年07月28日 連携研修会・勉強会  
平成28年度第2回新潟地域病院連携協議会の開催について (ご案内)

2016年07月27日 その他  
医療資源調査 専用記入フォーム開設についてのお知らせ

2016年07月22日 ニューストピックス

#### 連携センター、連携ステーションについて



連携センターは、連携ステーションを統合・調整する機関です。医療・介護関係者からの相談窓口、連携・支援・情報提供に關して、連携ステーションにて賜っております。

連携ステーション紹介

連携ステーション一覧

<http://niigata-rc.org/>

### □医療資源公開 (マップ) (H28.12月公開予定)

### □医療・介護関係者のみなさまへ

- ・研修会等のご案内
- ・在宅医療・介護連携ステーションについて
- ・FAQ

### □市民のみなさまへ

- ・市民出前講座「おきがる座談会」について
- ・地域包括支援センターのご案内

・・・などなど

# (キ) 地域住民への普及啓発

新潟市在宅医療市長出前講座



## 医療と介護の おきがる座談会



住み慣れた地域ですっと暮らし続けるために、今やっておくべきことは？  
「医療・介護のサービスってどんなものがあるの？」「在宅医療ってなに？」  
「在宅医療はどうすれば受けられるの？」・・・そんな疑問に、地域の医師や  
病院の医療相談員、訪問看護師などの専門職がお答えします。  
「かかりつけ医」をもつことなど、安心な生活につながるヒントを盛り込んだお話を  
地域の集まり（地域の茶の間・サロン・自治会等）でお気軽に学んでみませんか。  
地域の医療や介護の専門職が講師として伺います。

- 対象者 地域の団体やグループ（地域の茶の間、自治会など）
- 会場 申し込まれた団体が活動する会場でを行います
- 時間 原則として平日（月曜日から金曜日）の午後1時から午後5時までの間でおおむね45分間です
- 費用 無料です

### ●申込み方法と開催までの流れ

- ①開催希望日のおおむね3か月前までに、別紙の申込書にご記入のうえFAX・郵便または電話にて「新潟市在宅医療・介護連携センター（下記）」にお申し込みください。
- ②開催日時や内容など打ち合わせるため、申し込まれた方へ担当者が連絡いたします。
- ③当日、ご指定の会場へ講師・担当者がお伺いします。



お申し込み・お問い合わせ  
新潟市在宅医療・介護連携センター  
〒950-0914 新潟市中央区笹竹山 3-3-11（新潟市総合保健医療センター5階）  
電話 025-240-4135 FAX 025-247-8856  
Eメール renkei-center@med.email.ne.jp

## 市民出前講座「医療と介護のおきがる座談会」 ～目的・テーマの具体例～



退院後、普通に生活できるかな？  
介護の相談にものってほしいけど、どうしよう？

具合が悪くなったらお家で診療してくれるかな？  
お医者さんに関きたいことがあるんだけど、なんでも聞いていいかな？



このお薬、これとこれと一緒に飲んでも大丈夫？  
かかりつけ薬局行っていいかな？



認知症の人にはどう接したらいいのかな？  
認知症って予防できるのかな？



がんの治療や緩和ケアについて知りたいけど、どこに聞いたらいいのかな？  
医療や介護ってどんなサービスがあるのかな？

## 第2フェーズに盛り込むこと



○「地域」の範囲・・・エリアを考えると難しい。

➡ 医療の地域完結型を目指す

○「包括」・・・地域をまるごとみることは難しい。

➡ 「生活を支える視点」をもつ地域の看護職をつなぐ

○「システム」・・・構築は難しい。

➡ ネットワーク形成からシステム構築に進化

そのためには庁内連携強化(地域支援事業・認知症・精神・難病・小児・障害・・・)

「市民」を主語にまちづくりを目指す

## 新潟市在宅医療・介護連携センター

〒950-0914 新潟市中央区紫竹山3丁目3番11号

新潟市総合保健医療センター5階新潟市医師会内

TEL 025-240-4135 (直通)

FAX 025-247-8856

E-mail [renkei-center@med.email.ne.jp](mailto:renkei-center@med.email.ne.jp)

受付日・時間 月～金の9:00～17:00  
(祝日, 年末年始を除く)

ホームページ <http://niigata-rc.org/>

## 新潟市保健衛生部地域医療推進課

〒950-0914 新潟市中央区紫竹山3丁目3番11号

新潟市総合保健医療センター2階

TEL 025-212-8018 (直通)

FAX 025-246-5672

E-mail [chiiki.iryo@city.niigata.lg.jp](mailto:chiiki.iryo@city.niigata.lg.jp)



ご当地システムをこれからも目指します。

